

北区会 自由な趣味の会

第51回折り紙の会 活動計画

: 2022年 3月23日(水) 13時~16時

1. 参加者と場所と時間

時 間	場 所	参 加 予 定 者
13時~16時	星和台ファミリー ホール202号室	みどり講師・公子講師・山下講師: 鬼村信行、佐伯義昭、 前田仁子、宮内久子、高橋毅、高橋英子、徳山忠子、山川 端子、才田章子、高見幸子、小野淳子、中川豊、中川多賀 子、山本照子、敬称無

折り紙の会 はじめに。

コロナ渦 感染拡大 収束ならず、少し変化を見せたが、新たにオミクロン株の蔓延は日本はもとより世界中 猛威が吹きまわって大変々！まずは対策・3回目接種進行。そんな時ロシアがウクライナに突然侵略侵攻ウクライナの国・国民に対する無差別攻撃になった。停戦協議もロシアが一方的で無理難題ばかりで解決の目途はないようだ。しかもその間もロシアの攻撃は継続。人道に反する究極兵器である核による威嚇侵略に加えた核攻撃の示唆されたなどトンデモナイ！（非核三原則を堅持すべきJAPAN）世界（地球環境）が気候変動に関する大問題を抱え、正に地球温暖化を全世界で対策すべき、大問題・を忘れてはいないのか？ 腹立だしい事ばかりです。平和な世界を大切に！

2. 活動概要

I 鶴

六角返しとは？

II、講師より 当日提案して頂きます。



折り紙が持つ幾何学的な性質から、数学の一分野としても研究されている他、工学や宇宙工学分野でも構造物の収納・展開の手段として活用されている。その効果効用：想像力、創造力、数学的・幾何学的観念を与える、物の順序、正確性、楽しさ、美的情緒を養う、手先の運動神経 つまり脳トレにもっとも簡単に何時でもできる良さで、何よりも日本で一番庶民伝統作品です。

* 折り紙の歴: は平安時代(794~1185)後期に、貴族達が畳んで懐中に入れる薄い紙(鼻紙や和歌などの料紙)や紙入れ、小物入れ、化粧品包みなどの厚い紙製の「たとうがみ」があり、鎌倉時代になると、幕府は貴族社会との交流の為に、伊勢家や小田原家に職故事(調停や公家の管制や行事の慣行に関する知識)を学ばせました。当時紙を折ることはすべて「折形」でした。上流の武家社会で贈答品の包みや婚礼の儀式の席の飾りなどの折り紙が整備されていく一方、儀礼折り紙の余儀として「鶴」「舟」などの 遊戯折り紙 が作られるようになったと考えられる。(「おりがみ100」)より~

この会はどの区会の方も自由に参加頂けます。お知り合いお友達もお誘いください。

申し合わせ及び注意事項

- 1) 欠席者は事前に幹事「道満」へ連絡する
- 2) 諸道具は自身で持参、その服装などの準備もお願いします
- 3) 諸道具の購入などは参加者負担(500円)をお願いします。

次回開催:

第52回折り紙の会活動計画予定

開催日 令和4年 4月 27日(水) 12時半~16時
場所 しあわせの村内 場所未定

文責 道満

第51回折り紙の会活動計画 場所案内は…。

星和台ファミリーホール

〒651-1121 兵庫県神戸市北区星和台6丁目28-1

西鈴蘭台駅出口から徒歩約16分（道案内） 路線

鈴蘭台西口駅出口から徒歩約21分（道案内） 路線

